

事業成果報告書

〔取組Ⅰ〕 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 熊本県教育委員会
2. 取組の名称 : 平成28年度小中一貫教育推進事業

3. 事業の実績

(1) 事業のねらい

小中一貫教育推進事業を通じて、子供の成長に応じた小・中学校間の円滑な接続のための取組を推進する。

県教育委員会では、小中一貫教育推進について、協力市町村を指定し、推進協議会の開催、学校訪問等により市町村教育委員会への指導、助言及び支援を行う。

委託を受けた市町村の教育委員会は、小中一貫教育を推進するための体制の構築等、各地域の実情に応じて必要な取組を行うものとする。

(2) 事業の実施状況

県では小中一貫教育連絡協議会を2回実施し、市町村が円滑に小中一貫教育に取り組める体制を確立するよう支援した。

小中一貫教育フォーラムを実施し、市町村教育委員会及び学校に情報提供を行った。

(参加者：102人)。

地震の影響により、業務削減のため、リーフレットの作成については来年度に見送り、第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山への本課からの視察については中止した。

○宇土市

・小中一貫教育の導入が十分に進んでいない校区の職員の先進的な取組を視察研修の実施した。

・宇土市小中一貫教育推進協議会の実施した。

○宇城市

・熊本地震の影響により、夏に実施予定だった全員研修会が開催できなかった。

・各中学校区における取組の方向をもとに、授業実践等を行った。

○玉名市

・教職員対象のフォーラムを実施した

・市内全戸に各中学校区ランドデザイン配付した。

・9年間で系統的に学ぶ「玉名学」を全面実施した。

○和水町

・三加和小中一貫教育報告会を実施した。

・三加和小中一貫教育推進会議を実施した。

○八代市

・八代市小中一貫・連携教育推進協議会

・「八代型小中一貫・連携教育」実践校公開授業研究会の実施

など

(3) 事業の成果

小中一貫教育に関する連絡協議会を開催し、呉市立二宮肇美校長、千葉大学天笠茂特任教授の講演、市町教育委員会やモデル校の取組実践等の情報交換を行うことで、市町教育委員会やモデル校が今後の小中一貫教育の取組に対する参考となるように情報提供をすることができた。

小中一貫教育フォーラムを実施し、県内の市町村教育委員会や学校への小中一貫教育についての情報発信ができた（講師は京都産業大学西川信廣教授）

○宇土市

・小中一貫教育の導入が十分に進んでいない校区の職員の小中一貫教育を推進する気運が高まった。

・各中学校区での事前研究会や授業研究会をとおして、基本的な授業スタイルのゆるやかな統一等、小中連携教育の中で小中一貫教育に含まれる取組の充実が協議された。

○宇城市

・中学校区で家庭学習の共通実践に取り組み成果が上がった。

○玉名市

・中学校生活に対する小中学生へのアンケートで

・「学校は楽しい」93.4%（昨年度比0.1ポイント増）

・「中学校への不安はない」90.7%（昨年度比0.4ポイント増）となった。

○和水町

・先進地視察や研究発表会で得られた情報を校内研修等で協議する事により、他の教職員の小中一貫教育に関する取組への意識が向上した。

・小規模校で施設一体型の小中学校ならではの乗入れ授業の方法、合同行事や交流活動を研修し三加和小中学校に活かせる要素を得ることができた。

○八代市

意識調査の集計結果から

・「学校生活は楽しい」の項目に「はい」と回答した割合が7割を超え過去最高となった。

・中学生になるのは楽しみですか」の問いに、「はい」と自信をもって答えた小6は53.1%、「どちらかといえば、はい」を合わせると84.0%となり過去最高となった。

・「心配なことがある」と回答した小6のべ人数が昨年度より80人減少し、「心配なことがない」と回答した人数が10人増加した。

(4) 今後の取組予定

○小中一貫教育フォーラムの開催による県下全域への小中一貫教育に関する情報提供。

○県教育委員会ホームページでの小中一貫教育の実践等の紹介

○リーフレット（電子版）の作成

○市町教育委員会やモデル校が実施する研究発表会、合同研修会への参加。

○連絡協議会の実施による協力市町教育委員会、モデル校の情報共有。

※〔取組Ⅰ〕〔取組Ⅱ〕の両方を含む事業全体の今後の取組予定について、簡潔に記載すること。

※必要に応じて、適宜、枠を広げること。

4. 取組Ⅰの実績

(1) 取組のねらい

小中一貫教育推進事業を通じて、子供の成長に応じた小・中学校間の円滑な接続のための取組を推進する。

県教育委員会では、小中一貫教育推進について、協力市町村を指定し、推進協議会の開催、学校訪問等により市町村教育委員会への指導、助言及び支援を行う。

委託を受けた市町村の教育委員会は、小中一貫教育を推進するための体制の構築等、各地域の実情に応じて必要な取組を行うものとする。

2) 取組 I の実施状況 (平成28年度)

6月	国との委託契約締結 (6月14日)
7月	県と協力市町村教育委員との委託契約締結 (7月21日)
8月	小中一貫教育連絡協議会 (第1回) 呉市立川尻中学校二宮肇美校長講演 (8月2日)
9月	小中一貫教育に関する情報収集
10月	小中一貫教育フォーラム準備
11月	小中一貫教育フォーラム開催 京都産業大学西川信廣教授講演、玉名市教育委員会、宇土市立網田小中学校、八代市立泉小中学校実践発表
12月	
1月	和水町報告会参観及び講話 (義務教育課村本指導主事)
2月	小中一貫教育連絡協議会 (第2回) 千葉大学天笠茂特任教授講演 (2月7日) 八代市研究発表会参観 (義務教育課鈴嶋主幹)
3月	完了報告書作成

(3) 取組の成果

<p>○ 小中一貫教育連絡協議会を2回実施 (参加者：第1回25人、第2回61人、市町村教育委員、モデル校 (第1回ただし八代市及び玉名市は代表校)、関係教育事務所及び義務教育課担当者等)、有識者による講演、取組の成果と課題、今後の計画の確認、実践報告、協議等を行い、市町村が円滑に小中一貫教育に取り組める体制を確立するよう支援した。</p> <p>○ 小中一貫教育フォーラムを実施し、有識者 (大学教授) の講演による最新の情報提供、市町教育委員会やモデル校の担当者の実践発表により、県内で小中一貫教育に取り組んでいる (取り組もうとしている) 市町村教育委員会及び学校に情報提供を行った。 (参加者：102人)。</p>
--

(4) 今後の取組予定

<p>○ 小中一貫教育フォーラム (市町村教育委員会の担当者、モデル校の管理職・教職員、県内の小・中学校関係者が対象) の実施。</p> <p>○ 小中一貫教育事業連絡協議会 (教育事務所指導主事、協力市町村関係者、モデル校関係者、義務教育課審議員、担当指導主事等による構成) の実施</p> <p>○ リーフレットの作成及び公表。</p> <p>○ 小中一貫教育推進事業に係る県教育委員会ホームページ (以下「県教委HP」という) の開設。</p>

- 協力市町教育委員会及びモデル校が行う研究発表会や合同研修会等の参観
- 他都道府県における小中一貫教育の先進地域の情報等の積極的な提供。
- 協力市町教育委員会、学校からの要請に応じて、研修会、研究会等での行政説明、指導助言を行う。

5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ－1	宇土市教育委員会	
Ⅱ－2	宇城市教育委員会	
Ⅱ－3	玉名市教育委員会	
Ⅱ－4	和水町教育委員会	
Ⅱ－5	八代市教育委員会	

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ - 1

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 宇土市教育委員会

住所 : 熊本県宇土市浦田町5 1 番地

代表者職・氏名 : 宇土市教育長 大槻 英

2. 取組の名称 : 平成28年度宇土市小中一貫教育推進事業

3. 取組の実績

(1) 取組のねらい

①コミュニティ・スクールの導入により、学校、保護者、地域が小中一貫教育に関する情報、課題、目標を共有し、地域と連携した取組を組織的に行っていく。学校運営協議会との一体的推進による「地域と共にある学校づくり」を推進し、小中一貫教育を充実させていく。このような指導・支援体制を充実させることにより、一人一人の個性の伸長及び不登校や問題行動等の未然防止・解消を図る。
②小・中学校が、義務教育9年間の教育活動で果たすべき役割を認識し、小学校と中学校の教育課程の系統性を確保し、小学校から中学校への接続を円滑化する小中一貫教育を域内全域で進める。

(2) 取組の実施状況（平成28年度）

4月	
5月	
6月	
7月	平成28年度の小中一貫教育推進事業についての概要について、管内の校長及び教職員等に周知し、共通理解を図った。
8月	各中学校ごとに、小中一貫教育を推進するための授業研究会の事前研究会を実施した。また、推進体制等について協議した。
9月	各中学校ごとに、小中一貫教育を推進するための公開授業の準備を進めた。また、推進体制等について再度協議した。
10月	第11回小中一貫教育全国サミット（10/21・22）及び呉市立川尻小中学校小中一貫教育研究発表会（10/28）に、宇土市各小中学校職員及び指導主事が参加した。各学校での復講によって小中一貫教育に関する理解が深められ、各中学校区の状況に応じた推進のあり方を考えることができた。
11月	小中合同授業研究会を中学校区ごとに実施した。また、義務教育9年間の系統性や継続性を考慮した教育活動の充実について協議した。さらに、宇土市教育委員で宗像市教育委員会及び城山中学校を視察訪問（11/17・18）し、域内全域での導入推進について協議した。

12月	宇土市小中一貫教育推進協議会を開催し、宇土市小中一貫教育推進計画、宇土市学 中学校区小中一貫教育推進プラン（様式）及び策定日程について協議した。
1月	宇土市定例教育委員会において、宇土市小中一貫教育推進計画、宇土市学 中学校区小中一貫教育推進プラン（様式）を審議する。その審議結果を校長会議及び教頭 会議で報告する。
2月	宇土市総合教育会議において、宇土市小中一貫教育推進計画を説明する。宇土市小 中一貫教育推進計画について、宇土市ホームページを活用しパブリックコメントを とる。宇土市学力充実推進会議において、各中学校区での平成28年度の小中一貫 教育の取組の成果と課題を報告する。
3月	宇土市定例教育委員会において、宇土市小中一貫教育推進計画、宇土市学 中学校区小中一貫教育推進プラン（様式）を承認する。宇土市校長会議で、小中一貫教育 の2年間の取組の成果と課題及び平成29年度の推進計画について報告し、次年度 への取組に繋げる。宇土市小中学校全保護者に宇土市小中一貫教育推進計画を配布 し周知を図る

(3) 取組の成果

- ①小中一貫教育の導入が十分に進んでいない住吉中学校区及び鶴城中学校区の職員が、先
進的な取組を視察研修で学び、そのことを各学校で復講したことで、小中一貫教育を推進
する気運が高まった。
- ②宗像市教育委員会及び宗像市立城山中学校において教育委員の視察研修を実施したこ
とで、教育委員会の役割や導入手順、学校が取り組む内容が理解でき、域内全域導入推進に
向けて見通しを持つことができた。
- ③宇土市小中一貫教育推進協議会において、すべての中学校区での導入について理解を得
ることができた。
- ④各中学校区での事前研究会や授業研究会をとおして、基本的な授業スタイルのゆるやか
な統一等、小中連携教育の中で小中一貫教育に含まれる取組の充実が協議された。

(4) 今後の取組予定

- ①宇土市小中一貫教育推進計画に基づき、各中学校区小中一貫教育推進プランを策定し、
保護者や地域に周知を図る。
- ②各中学校区小中一貫教育推進プランによる取組を推進する。
- ③小中一貫教育フォーラムを開催し、各中学校区での小中一貫教育の取組を報告し有識者
からの助言を受ける。また、保護者や地域への啓発の機会とする。
- ④網田小中学校において、自主研究発表会を開催する。

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ - 2
------	-------

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 宇城市教育委員会

住所	: 宇城市松橋町大野85
代表者職・氏名	: 宇城市教育長 太田 耕幸

2. 取組の名称 : 宇城市教育委員会における小中一貫教育推進に関する取組

3. 取組の実績

(1) 取組のねらい

宇城市には、施設一体型小中一貫教育校の宇城市立豊野小中学校がある。本年度で3年目となるが、9年間を見通した系統的・継続的な指導や中1ギャップの解消、地域に根ざした教育活動等での成果が見られる。この成果を宇城市内の各小・中学校にも広げていくために、小中一貫教育推進事業の域内全域での導入に向けた取組を進めるようにする。

(2) 取組の実施状況（平成28年度）

4月	
5月	
6月	
7月	○宇城市小中一貫教育研修会の準備 → 熊本地震のため、中止 宇城市小中一貫教育研修会の開催準備をする。
8月	○宇城市小中一貫教育研修会の開催 → 熊本地震のため、開催中止 宇城市小中一貫教育研修会を開催し、全教職員で小中一貫教育についての研修を深める。
9月	○各中学校区における授業実践 各中学校区における取組の方向をもとに、授業実践等を行う。 ○事務補助による会計、文書処理、会議準備、書類整理等の業務開始（12月まで）
10月	○「第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山」視察研修 教育委員会として、各学校の教職員を派遣することにより、小中一貫教育に対する理解を深め、資質向上を図る。
11月	○各中学校区における授業実践 各中学校区における取組の方向をもとに、授業実践等を行う。 ○佐賀県鳥栖市研究会の視察研修 教育委員会として、各学校の教職員を派遣することにより、小中一貫教育に対する理解を深め、資質向上を図る。

12月	○小中一貫教育に関するアンケート調査の実施 宇城市の小中学生及び教職員等を対象にしたアンケート調査を実施する。
1月	○宇城市小中一貫教育連絡協議会の開催 各中学校区の代表校長、教頭、関係職員とともに、本年度の取組の反省や次年度の方向性等を検討する。
2月	○宇城市小中一貫教育連絡協議会代表者会の開催 各中学校区の代表者2名ずつによる代表者会を開催し、次年度の方向性を焦点化し、市としての具体的実践事項を検討する。
3月	○研究のまとめ 本年度の小中一貫教育の取組のまとめをする。

(3) 取組の成果

本年度は、熊本地震の影響により、夏に実施予定だった全員研修会が開催できなかった。しかしながら、中学校区で家庭学習の共通実践に取り組まれて成果を上げているところもあった。来年度は、指定3年目となることから、宇城市として全中学校区で共通理解・共通実践できることを検討し、焦点化して取り組んでいくようにする。

(4) 今後の取組予定

○宇城市の全員研修会を宇土市と共同で開催し、宇城管内全域に参加を呼びかけていく。内容としては、午前中に小中一貫教育に関する講話を、午後は各中学校区による実践発表を行う。
○宇城市の今後の小中一貫教育の方向性を明確にして、2年間の成果や課題をまとめて各方面に発信することにより、子どもたちを9年間で育てていこうとする協働の意識を高めることができる。(校長ヒアリングによる聞き取り等)

事業成果報告書

[取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ - 3

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 玉名市教育委員会

住所 : 玉名市岩崎163番地
代表者職・氏名 : 玉名市教育長 池田 誠一

2. 取組の名称 : 玉名市教育委員会における小中一貫教育推進に関する取組

3. 取組の実績

(1) 取組のねらい

- ① 6 中学校区の目指す子ども像・共通実践事項の充実を図り、グランドデザインを作成し、中学校区での取組の視点を明らかにする。
- ② 特色ある教育課程「玉名学」のテキスト及び指導書の配付及び完全実施に向けた学校化の取組
- ③ 英会話力を育てるエンジョイ・イングリッシュの全小中学校実施
- ④ 「小中一貫教育フォーラム」を開催し、小中一貫教育の意義を市内教職員に周知する機会とし、「小中一貫教育協力者会議」において、玉名市の小中一貫教育の取組について、広く意見を求め、充実を図る。

(2) 取組の実施状況 (平成28年度)

4月		
5月		
6月		
7月	○中1アンケート実施(6中学校)	「玉名学」全校実施
8月	16日(火)・17日(水)第4回小中一貫教育フォーラム開催(教職員対象) ・講師: 峰 茂樹 校長(多久市立小中一貫校 東原庁舎中央校)	
9月	○教育委員会だより作成準備	
10月	20日(木) 第2回小中一貫教育コーディネーター会議・研修実施 21日(金)・22日(土) 第11回小中一貫教育全国サミット(武蔵村山)参加4名 28日(金) 呉市立川尻小中学校研究発表会参加 5名 ○各中学校区小中一貫教育グランドデザイン各戸配付	
11月	24日(木) 熊本県小中一貫教育フォーラム 参加 対象校5校+希望1校 市教委2名	

12月	2日（金）玉名学「探究」4年大野小授業公開 7日（金）玉名学「礼節」2年高道小授業公開 20日（火）玉名学「礼節」（茶道）1年岱明中授業公開	
1月	27日（金）モデル地域「岱明かがやきの日」授業公開（睦合小） 30日（月）第2回小中一貫教育協力者会議開催	
2月	14日（火）第3回小中一貫教育コーディネーター研修 ○教育委員会だより発行・配付	
3月	（小6アンケート実施【21小学校6年児童対象】）	↓

（3）取組の成果

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育の理解、啓発が進んできた。 （教職員対象のフォーラムの実施・市内全戸に各中学校区グランドデザイン配付） ○各中学校区の目指す子ども像の共有と具体的な実践・各学校の取組の充実 ○モデル地域（岱明中学校区）の研究推進が図られている。 ○9年間を系統的に学ぶ「玉名学」の全面実施。完全版のテキスト、指導書を活用し、学校化を図り、全面実施に備える。 ○小中学生の英会話力の育成。（エンジョイ・イングリッシュ小中学校実施） ○小中一貫教育のチェックリストによる評価（2年目） <ul style="list-style-type: none"> ・向上した項目：実態課題の共有・目指す子ども像の一元化・小中合同の授業研究会や交流活動の検討・小中一貫の視点での研修・校内でのコーディネート 等 ○中学校生活に対する小中学生へのアンケート <ul style="list-style-type: none"> ・「学校は楽しい」93.4%（昨年度比0.1%増） ・「中学校への不安はない」90.7%（昨年度比0.4%増） <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グランドデザインを活用した小中一貫教育の保護者及び地域住民の更なる理解、啓発が必要 ○小中一貫教育に対する教職員の理解を図るフォーラムの充実 ○小中一貫教育のチェックリストによる評価の継続 （小中の更なる連携の在り方、校区の課題共有及び解決への具体的方策が必要） ○エンジョイ・イングリッシュの時間確保（中学校での取組）
--

（4）今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の理解促進（各中学校区グランドデザインの活用） ・第5回小中一貫教育フォーラム開催 ・特色ある教育課程「玉名学」の小中学校完全実施 ・E・E（エンジョイ・イングリッシュ）全面実施 ・研究指定校（モデル地域）研究発表会の開催 11/17（金） ・小中一貫教育協力者会議開催（年2回） ・小中一貫教育コーディネーター研修（年3回） ・小中一貫教育推進のためのチェックリスト（3年目）実施

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ - 4

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 和水町教育委員会

住所 : 熊本県玉名郡和水町
江田 3 8 8 6
代表者職・氏名 : 和水町教育長 小出正泰

2. 取組の名称 : 小中一貫教育推進事業

3. 取組の実績

(1) 取組のねらい

教育目標である「確かな学力の定着と豊かな心、たくましい心身の育成を図り生きる力を身につけた児童生徒の育成」を実現するために、学力向上と中一ギャップ解消の取組を実施する。
また、小中一貫教育を推進するうえで、実践・実績が豊富に積み重ねられている先進地を教職員が研修する事で三加和小中学校の教育方針に役立てる。

(2) 取組の実施状況 (平成28年度)

4月	
5月	
6月	6月10日 三加和小中一貫教育推進会議
7月	
8月	8月 3日 豊野小中学校視察研修 (熊本県) 8月16日 和水町教職員研修 (講演会) 8月22日 芦刈小中学校視察研修 (佐賀県)
9月	
10月	10月21日～22日 小中一貫教育全国サミット in 武蔵村山 (東京都) 10月27日～28日 川尻中学校先進地視察研修 (広島県)
11月	11月18日 小中一貫教育京都大原学院研究報告会 (京都府)

12月	12月2日～3日 小中一貫教育小規模校全国サミット i n 宮島 (広島県)
1月	1月20日 三加和小中一貫教育報告会
2月	2月27日 三加和小中一貫教育推進会議
3月	

(3) 取組の成果

先進地視察や研究発表会で得られた情報を校内研修等で協議する事により、他の教職員の小中一貫教育に関する取組への意識が向上した。
 小規模校で施設一体型の小中学校ならではの乗入れ授業の方法、合同行事や交流活動を研修し三加和小中学校に活かせる要素を得ることができた。

(4) 今後の取組予定

- ・ 和水町の小中一貫教育を確立するために、研究を深化させる。また、義務教育9年間を見通した育成ができるように教職員内での意識改革を促す。
- ・ 研究の成果を県下に発表する。

事業成果報告書

〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号	Ⅱ－５
------	-----

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 八代市教育委員会

住所	: 八代市千丁町新牟田1502-1
代表者職・氏名	: 八代市教育長 北岡 博

2. 取組の名称 : 八代型小中一貫・連携教育

3. 取組の実績

(1) 取組のねらい

「八代型小中一貫・連携教育」の定義
 子どもたちの「生きる力」を育むため、義務教育9年間を見通した小中共通の目標（めざす子ども像等）、指導内容及び指導方法等を共有し、中学校区の実態に応じて、小中相互に連携・交流し合いながら、育ちと学びの連続性を図る教育。

(2) 取組の実施状況（平成28年度）

4月	
5月	
6月	
7月	※各中学校区における取組
8月	2日（火）第1回小中一貫教育推進協議会 31日（水）エフエムやつしろ「やつしろインフォメーション」 ※各中学校区における取組
9月	※各中学校区における取組
10月	1日（土）「広報やつしろ10月号」 21日（金）22日（土）第11回小中一貫教育全国サミットin武蔵村山 第三中学校区、第六中学校区、第八中学校区、日奈久中学校区、東陽中学校区、 学校教育課から1名ずつ計6名参加 24日（月）「八代型小中一貫・連携教育」に係る意識調査（基準日） 小6児童・中1生徒、保護者、教職員を対象 ※各中学校区における取組
11月	24日（木）小中一貫教育フォーラム 泉小中学校 実践発表 ※各中学校区における取組

12月	13日(火) 八代市教育懇談会 ※各中学校区における取組
1月	26日(木) 八代市小中一貫・連携教育推進協議会 30日(月) 平成28年度「八代型小中一貫・連携教育」に係る意識調査の集計結果について(通知) ※各中学校区における取組
2月	7日(火) 小中一貫教育推進事業連絡協議会(第2回) 9日(木) 「八代型小中一貫・連携教育」実践校公開授業研究会 日奈久小・中学校 ※各中学校区における取組
3月	※各中学校区における取組

(3) 取組の成果

平成28年度「八代型小中一貫・連携教育」に係る意識調査の集計結果から

- 「学校生活は楽しい」の項目に「はい」と回答した割合が初めて7割を超え過去最高となった。中1も、昨年度より0.4ポイント増え過去最高となった。
- 「中学生になるのは楽しみですか」の問いに、「はい」と自信をもって答えた小6は53.1%で過去最高となった。「どちらかといえば、はい」を合わせると84.0%となり過去最高となった。
- 小6では「自分からすすんであいさつをする」が、前年度より増えた項目第1位になった。「やっしろスピリッツ」に学校総体として意識的に取り組んでいる結果であろう。
- 「心配なことがある」と回答した小6のべ人数が昨年度より80人減少し、「心配なことがない」と回答した人数が10人増加した。相互乗り入れ授業や体験授業等の取組の効果が現れ始めたと考えられる。

(4) 今後の取組予定

【平成29年度】

- ☆「八代型小中一貫・連携教育」実践校公開授業研究会
- 5/12(金) 小中一貫コーディネーター研修会
- 7/21(金) 第1回八代市小中一貫・連携教育推進協議会
- 8月 エフエムやっしろ「やっしろインフォメーション」
- 10/1(日) 「広報やっしろ10月号」
- 11/1(水) 「八代型小中一貫・連携教育」に係る意識調査
- 1/25(木) 第2回八代市小中一貫・連携教育推進協議会
- 1月 第12回小中一貫教育全国サミットin京都
第二中学校区、第五中学校区、第七中学校区、二見中学校区、坂本中学校区
- 2月 平成29年度「八代型小中一貫・連携教育」総括集
- ◇小中合同研修会
- ◇相互乗り入れ授業
- ◇情報交換会
- ◇小中合同行事
- ◇小学校高学年による中学校体験活動
- ◇児童会、生徒会の交流活動
- ◇小中連携PTA活動
- ◇住民自治との連携